

9/18 五  
夜

# 新基地反対 107 市町村議

## 有志の会発足、知事を後押しし

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設に伴う設計変更申請を玉城デニー知事が不承認としたことをめぐる裁判で、最高裁が県敗訴の不当判決を出したことで、辺野古新基地反対の意思表示をするため、「辺野古新基地建設に反対し、沖縄の自

治の底力を發揮する自治体議員有志の会」を発足しました。同会が16日、那覇市内で会見し発表しました。

発起人は、與那覇沙美北谷町議、多嘉山信三名護市議。16日時点では、28市町村の107人の議員が賛同し、無議決で16日、那覇市

属が約4割で今後も賛同議員を募ります。日本共産党も那覇市議団や農民城市議団をはじめ各市町村の議員が賛同しています。



判。新基地反対を貫く  
沖縄県知事の毅然たる

行動を後押しし、沖縄で真の自治を実現する  
と宣言しました。

会見で與那覇氏は「地方自治体議員は住民の近くにいる存在。最前線であきらめないと働きかねない」と強調。仲宗根氏は「農民、地方自治体議員は決してあきらめていない」と示すことはすこし意味がある」と述べ、多嘉山氏は「沖縄が自ら決定の力を持つていることを今一度呼びかけたい」と訴えました。